

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|--------------------------------|
| 施設名 | First step I |
| 施設所在地 | 東京都江戸川区西小岩1-23-2 サンハイツグリーンヒル6階 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

地域資源を活用したコーナー保育（魚&お寿司コーナー）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
毎日行っている絵カードに魚の絵カードがあり、子どもたちが魚に興味を持っている様子が
見られ、魚に対する興味関心をさらに深めるため。魚への興味から、魚の食育へと活用す
る。

2. 活動スケジュール

- ・お魚の歌ってあるのかなあという子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定する。
数字のうたの替え歌で、お魚の歌を作り、「お魚ダンス」を専門の講師（ダンスレッスン）
と一緒に創作する活動を行い全員が楽しめるような仕掛けをした。
- ・お魚っておいしいよね、お寿司が食べたいねという子どもたちの声から、お寿司屋さん
コーナーを作り、お寿司屋さんごっこを楽しめるようにした。
- ・お寿司屋さんに足を運び、並んでいるお寿司や作っている所を見学した。探究活動の様子
は、動画や写真で記録した。
- ・職員会議の際に、職員全員で活動内容の振り返りを行う。ドキュメンテーションを作成

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
フェルトでお寿司や、画用紙でお寿司屋さんの帽子、段ボールでお寿司屋さんのカウンター
を作る等して、お寿司屋さんコーナーを作成し、お寿司屋さんごっこを楽しめるようにし
た。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

実際にお寿司屋さんに足を運び、並んでいるお寿司やお寿司を作っている様子を見学させてもらいお寿司屋さんコーナーを作り、ごっこ遊びや魚の食育を行った。また、お寿司屋さんに来た海外のお客さんとのやり取りから、魚の名前を英語で知る「グローバルお寿司屋さんごっこ」を実施した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

遊び場を作る前、数字と魚に興味があった為オリジナルの数字の歌を作り、より魚に興味を持てるよう声をかけていった。全員が歌を好きになり、楽しんでいる様子が見られた。魚をメインにコーナーを作る中で、子どもたちから「お寿司がいい」という声があった為実際にお店にお寿司を見に行き、お客さんはどう買っているのか、店員さんはどう接客しているのかなどを見学した。帰園後、子どもたちとお寿司を作る中で、お店屋さんになりきって「いらっしゃいませー」「へいおまち！」と楽しんで遊ぶ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

お寿司屋さんコーナーを作っていくなかで、桶や醤油・魚を作り、お寿司屋さんになりきって遊ぶことができていた。給食でも実際に軍艦握りを作ってもらったことで、遊びにもより興味を持てただけでなく、食への興味関心も広がり、給食の完食が増え、子どもたちも嬉しそうに食べる姿が見られるようになったので良かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|--------------------------------|
| 施設名 | First step I |
| 施設所在地 | 東京都江戸川区西小岩1-23-2 サンハイツグリーンヒル6階 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

地域資源を活用したコーナー保育（ジュースコーナー）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
5,6月のお散歩中に梅の実を見つけ、梅を食べてみたいという子どもたちの声があったため、食育で梅ジュースを作って飲んだことから、他のジュースにも興味を持っている様子が見られ、ジュースに関する興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

- ・他のジュースも飲んでみたい、どんな色、どんな味がするんだろう？という子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定する。
- ・色水遊びでジュースを作り、子どもたちが作ったジュースでジュース屋さんコーナーを作成、ジュース屋さんごっこを楽しめるようにした。
- ・電車に乗り、ジュース屋さんを見学。どうやってジュースを作っているのか、どんなジュースがあるのか、どんな色になるのか、どんな味がするのかなど、実際にジュースを飲み確認した。探究活動の様子は動画や写真で記録。
- ・職員会議の際に、職員全員で活動内容の振り返りを行う。ドキュメンテーションを作成し、保護者にも探究活動の様子を共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- （活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
- ・色水遊びを行い、ジュースを作った。
 - ・新聞紙やカラーポリ等で作ったミキサー等を置き、ジュース屋さんコーナーを作った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

電車に乗りジュース屋さんを見学し、ジュースの作り方、ジュースの種類、どんな材料で作るのか、どんな色になるのか、どんな味がするか等、実際にジュースも飲み確認した。体験をもとにしてジュース屋さんコーナーを作成し、ジュース屋さんごっこも行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ジューススタンドを作ったことにより子どもたちのなかで作りたいものが明確化され、「フルーツ作りたい!」という声があった為、画用紙やテープを使いフルーツ作りをした。作ったフルーツを使い、ジュース作りを楽しむ姿が見られた。フルーツをコップに入れて保育者と乾杯を楽しんだり、色水のジュースで「いちごジュースです!どうぞ。100円でーす!」と遊ぶなど、ごっこ遊びの幅が広がったように感じた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ジュース作りを通して、子どもたちの”やりたい気持ち”を引き出すことが増え、「これが作りたい」「レジが欲しい」など、以前よりも子どもの声に注目して関わることができた。今までは子ども同士で遊ぶ姿があまり見られなかったが、子ども同士で遊ぶ姿もだんだん見られるようになり良かった。年齢に合わせ関わり方を伝えていくが、干渉しすぎないようにしながら引き続き子ども同士の関わりを増やしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|--------------------------------|
| 施設名 | First step I |
| 施設所在地 | 東京都江戸川区西小岩1-23-2 サンハイツグリーンヒル6階 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

地域資源を活用したコーナー保育（電車）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

遊び場を保育室の窓側に移動させたことにより、子どもたちが窓から見える電車に手を振るようになったことから、電車に対する子どもたちの興味関心をさらに深めるため。また、電車から踏切や駅の自動販売機等にも視野を広げさせるため。

2. 活動スケジュール

- ・どんな色の電車があるのか、電車はどこを走っているのか、ホームにはどんなものがあるのかなど、電車に関するものは何があるかということ問いとして設定する。
- ・環境設定として、電車に関するもの（踏切や線路のマスキングテープ、電車の玩具など）を用意。また電車が良く見えるよう、窓側に1段段差を用意した。
- ・小岩駅のホームに入り、実際に総武線を見学に行った。探究活動の様子は動画、写真で記録する。
- ・職員会議の際に、職員全員で活動内容の振り返りを行う。ドキュメンテーションを作成し、保護者にも探究活動の様子を共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・手作り踏切を設置した。
- ・電車に関する絵本や写真を用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

JR小岩駅のホームに入り、総武線の電車を見学した。
見学した体験をもとに、電車コーナーを作成した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

実際にホームから間近に電車を見たことで、興味関心の高まりを感じた。「でんしゃ」「きた」などの発語も多くみられ、指差しや「バイバイ」と手を振る動作や仕草との結びつきも盛んに見られた。保育室から電車を見る機会も増え、音に反応したり、電車の玩具を窓につけて”同じ”を表現しようとするなど、遊びの広がりや表現したい気持ちの高まりも感じるようになった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

数人の子どもが興味を持ち始め、体験に繋げてコーナー作りを行ったが、実際に体験した事で他の子の興味関心も高くなり、人気の遊びに発展していった。小さいながらも友だちと実際に本物を見る体験は新鮮で、成長・発達にもつながる刺激になると感じた。子どもの姿(興味)をコーナー作りにどのように活かすか、よく考える機会にもなり自分自身の学びにもなった。今後も、今どのような姿、興味があるのかをよく見る事や、興味や成長・発達を促せるしかけ等を工夫し、遊びの提供をしていきたい。また、本物を見る機会についても大切にしたいと感じた。